



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,007	18.7	358	56.4	348	58.7	207	21.2
2019年12月期第2四半期	2,534	31.8	229	△24.2	219	△24.3	171	△31.4

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 211百万円(23.0%) 2019年12月期第2四半期 172百万円(△31.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年12月期第2四半期	円 銭 25.46	円 銭 25.43
2019年12月期第2四半期	23.74	23.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年12月期第2四半期	百万円 6,174	百万円 4,690	% 75.8
2019年12月期	5,811	4,528	77.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 4,681百万円 2019年12月期 4,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 6.00
2020年12月期	—	0.00			
2020年12月期(予想)			—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,826	8.2	304	26.1	271	17.8	256	6.2	31.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	8,153,720株	2019年12月期	8,153,720株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	3,414株	2019年12月期	3,375株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	8,150,316株	2019年12月期2Q	7,207,571株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、政府の緊急事態宣言の発令や各自自治体の外出自粛・休業・時短の要請等により、企業活動や個人消費が著しく制限され景気の動向は極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルス問題は収束の見通しが立たず、先行きの不透明な状況が続いております。海外においても、各国で感染拡大防止対策が取られたことにより企業の生産活動や個人消費が悪化し、経済活動は大きく低下しております。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当第2四半期連結累計期間におきましても、引き続きソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力しております。

その結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は3,007,356千円（前年同期比18.7%増）、営業利益はCandera GmbHののれん等の償却費225,513千円により358,612千円（前年同期比56.4%増）となりました。

また、経常利益につきましては、為替差損8,431千円を計上したこと等により、348,147千円の経常利益（前年同期比58.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、税金費用140,640千円を控除したこと等により、207,507千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比21.2%増）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<クリエイターサポート事業>

当第2四半期連結累計期間においては、子会社の株式会社セルシスのマンガ・イラスト・アニメ制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」において、iPad版及びiPhone版で従来から提供していたサブスクリプションモデルの課金システムを、新たにWindows及びMacOSといったPC環境でも2020年4月9日より提供を開始し、サービスの継続性を担保しながら収益化を図る環境が整いました。

また、学校法人角川ドワンゴ学園「N 高等学校」の課外授業のマンガ・コミック講座や美術部の活動において導入されている、子会社の株式会社セルシスのマンガ・イラスト・アニメ制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」の導入背景や、活用内容のインタビューをリリースしました。

この他、昨今の社会情勢を鑑み、当社が提供するマンガ共有・閲覧サービス「CLIP STUDIO SHARE」による、オンラインでの商業漫画作品の製作作業を支援するサービスの拡充を推進する等、ユーザー拡大に向けた営業活動を実施しております。

なお、電子書籍ソリューションでは、電子書籍ビューア「CLIP STUDIO READER」が、株式会社ネクスチャーが運営する電子書籍配信サービス「コミックデリ」に採用されました。

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大した環境下において、当社が提供する、デジタル技術でコンテンツの制作から閲覧までを支援する製品・ソリューションへの需要が全世界で高まった結果、売上高は2,256,381千円（前年同期比25.7%増）、営業利益は787,458千円（前年同期比89.2%増）となりました。

<UI/UX事業>

UI/UX事業では、自動車（四輪・二輪）関連分野を筆頭に、車載向けソフトウェア開発プラットフォーム「CGI Studio」（シージーアイスタジオ）、及び、HMIの基盤であるUIオーサリングソフトウェア群「exbeans UI Conductor」（エックスビーンズユーアイコンダクター）を中心とする自社IP製品の開発に注力しております。

UI/UX事業の主要な取引先である自動車業界は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大した影響により、需要の低迷や生産台数の減少により厳しい状況で推移しております。このような状況の中、当社グループでは、UI/UX事業の一層の強化を目的に技術開発、新規顧客開拓を推進しております。

当第2四半期連結累計期間では、世界最大のタイプファウンダリー Monotype社のiType®を「CGI Studio」に実装しました。また、「CGI Studio 3.9」をリリース、革新的なAI Importerを機能追加しユーザビリティが向上しております。

以上の結果、売上高は767,488千円（前年同期比1.0%増）、営業損失はのれん等の償却費225,513千円を含め、469,116千円（前年同期は156,423千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて362,964千円増加し6,174,127千円となりました。この主な要因は、償却によりのれんが152,266千円、技術資産が51,155千円減少したものの現金及び預金が354,410千円、ソフトウェアが141,076千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて201,536千円増加し1,483,901千円となりました。この主な要因は、前受金が83,330千円、未払法人税等が85,709千円、賞与引当金が109,351千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて161,428千円増加し4,690,226千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が157,229千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、75.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年2月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,905,356	2,259,766
売掛金	464,404	485,321
製品	2,475	4,541
仕掛品	36,101	15,549
原材料及び貯蔵品	34,739	19,558
その他	271,220	464,041
貸倒引当金	△5,456	△3,421
流動資産合計	2,708,841	3,245,356
固定資産		
有形固定資産		
建物	134,770	134,770
減価償却累計額	△27,435	△32,807
建物(純額)	107,335	101,962
工具、器具及び備品	312,688	320,337
減価償却累計額	△196,902	△213,453
工具、器具及び備品(純額)	115,786	106,883
車両運搬具	3,924	3,924
減価償却累計額	△2,759	△2,954
車両運搬具(純額)	1,164	970
有形固定資産合計	224,285	209,816
無形固定資産		
ソフトウェア	681,949	823,025
ソフトウェア仮勘定	3,555	4,408
のれん	1,294,262	1,141,996
顧客関連資産	117,341	103,536
技術資産	434,822	383,667
その他	137,947	56,525
無形固定資産合計	2,669,878	2,513,160
投資その他の資産		
投資有価証券	40,766	19,157
敷金及び保証金	163,533	163,900
繰延税金資産	—	10,855
その他	3,857	11,881
投資その他の資産合計	208,157	205,794
固定資産合計	3,102,321	2,928,771
資産合計	5,811,162	6,174,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	95,858	133,301
未払金	86,060	82,879
前受金	246,215	329,546
未払費用	195,263	158,594
未払法人税等	82,017	167,727
返品調整引当金	1,535	130
賞与引当金	60,404	169,755
その他	129,426	102,844
流動負債合計	896,781	1,144,778
固定負債		
役員退職慰労引当金	105,240	124,830
退職給付に係る負債	166,363	181,516
繰延税金負債	32,913	29,795
その他	81,066	2,981
固定負債合計	385,583	339,122
負債合計	1,282,364	1,483,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,493,012	1,493,012
資本剰余金	972,139	972,139
利益剰余金	2,059,924	2,217,154
自己株式	△3,268	△3,296
株主資本合計	4,521,807	4,679,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,636	6,857
為替換算調整勘定	△8,991	△3,985
その他の包括利益累計額合計	△1,354	2,871
新株予約権	8,345	8,345
純資産合計	4,528,797	4,690,226
負債純資産合計	5,811,162	6,174,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,534,385	3,007,356
売上原価	1,373,142	1,470,377
売上総利益	1,161,243	1,536,978
返品調整引当金戻入額	1,152	1,535
返品調整引当金繰入額	2,377	130
差引売上総利益	1,160,018	1,538,383
販売費及び一般管理費	930,761	1,179,771
営業利益	229,257	358,612
営業外収益		
受取利息	24	42
受取配当金	572	12
その他	1	0
営業外収益合計	598	56
営業外費用		
支払利息	4,078	-
為替差損	3,955	8,431
その他	2,441	2,089
営業外費用合計	10,475	10,520
経常利益	219,380	348,147
特別損失		
投資有価証券評価損	15,267	-
特別損失合計	15,267	-
税金等調整前四半期純利益	204,112	348,147
法人税等	32,944	140,640
四半期純利益	171,168	207,507
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,168	207,507

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	171,168	207,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,484	△778
為替換算調整勘定	△2,442	5,005
その他の包括利益合計	1,041	4,226
四半期包括利益	172,210	211,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,210	211,733
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(会計方針の変更)

(在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱いに関する改正実務対応報告等の適用)

改正実務対応報告第18号「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(2018年9月14日)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。当該改正実務対応報告の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイ ターサポー ト事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,774,148	760,236	2,534,385	—	2,534,385
セグメント間の内部売 上高又は振替高	21,018	—	21,018	△21,018	—
計	1,795,167	760,236	2,555,404	△21,018	2,534,385
セグメント利益又は損失 (△)	416,184	△156,423	259,760	△30,503	229,257

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、Candera GmbHの株式を取得し、子会社となったため、連結の範囲に含めております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間において報告セグメントの資産の金額は、「UI/UX事業」において2,807,765千円増加しております。なお、当該資産の金額は、暫定的な会計処理の確定に伴う見直し反映後の金額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

UI/UX事業において、Candera GmbHの株式の取得をいたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,399,142千円であります。なお、当該のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定に伴う見直し反映後の金額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,256,381	750,974	3,007,356	—	3,007,356
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	16,513	16,513	△16,513	—
計	2,256,381	767,488	3,023,870	△16,513	3,007,356
セグメント利益又は損失(△)	787,458	△469,116	318,341	40,270	358,612

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。